

品川郷土の会 会報

令和4年(2022)2月
復刊第121号

発行人坂本道夫
編集人野口健夫

令和4年総会兼第467回例会開催

オミクロン株の急激な蔓延を捉えて、新型コロナ蔓延防止措置が発出され、1月29日(土)に開催予定だった、令和4年総会兼第467回例会が延期され、2月26日(土)午後中小企業センター3階小会議室で開催し、正副会長含め13名が参加しました。

冒頭、野口副会長から会報復刊120号に掲載した令和3年度会計報告の内容説明があり報告書が承認されました。



第467回例会風景

南浦桜案内版木紹介 会長 坂本 道夫

南浦桜案内は、江戸時代の南浦にあたる品川周辺の桜の名所案内図です。大井村の名主で松尾芭蕉派の俳人だった一世杜格斎山奴、二世杜格斎積翠に続く三世杜格斎景山(とかくさいけいざん)が手がけたもので、品川区立品川歴史館でも複製が常設展示さ

れ、われわれにも馴染み深いものです。池上本門寺から大井の寺社を中心に品川御殿山までの地域の桜の名所を紹介しています。

今回は坂本会長所蔵の表装された刷物が紹介されました。増上寺関連三好図書の所蔵印が確認できます。

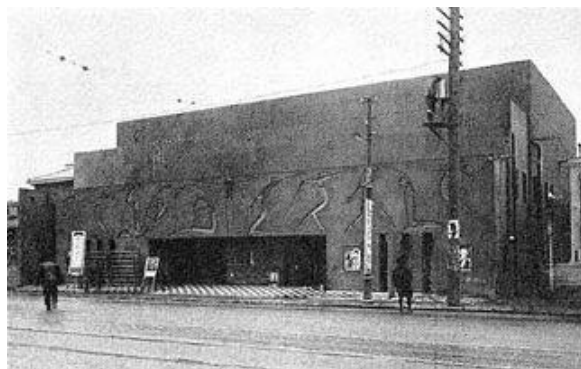


南浦桜案内 刷物

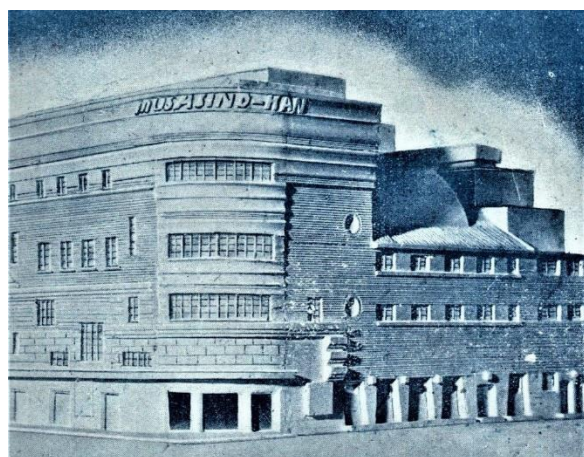
刷物には芭蕉庵記載と記載のないもの、若干文章の違うものが存在するようです。今回紹介された物には芭蕉庵の記載や杜格斎景山印はありません。版木は池上本行寺のものが有名ですが、これ以外に個人蔵の物もあったとのこと。



坂本会長所蔵表装刷物



1927年(大正15)赤坂溜池 葵館



1928年(昭和2年)新宿角筈 武蔵野館

サイレント映画時代の徳川夢声と品川 副会長 野口 健夫

徳川夢声は、大正期から昭和初期の著名なサイレント映画館、赤坂溜池・葵館、新宿角筈・武蔵野館、品川上大崎・目黒キネマで弁士として活躍しました。黒澤明の自伝によれば兄の黒澤丙午も葵館や武蔵野館で仕事をしていた、同時期ではないようですが面識はあったようです。トーキー時代に入り、弁士ストライキが多発し、両氏も騒動に巻き込まれ、須田貞明(黒澤丙午)はストライキの責任者として27歳で自殺し、徳川夢声(福原駿雄)はストライキから距離を置き、その後漫談家に転身しました。

「夢声の身の上ばなし」や「夢声暗がり20年」によれば、徳川夢声は活動弁士時代の1923年東洋キネマに招聘され経営者として活動し、失敗します。この頃、東洋キネマのチェロ奏者大津三郎が住んでいた伊藤公墓所近くの伊藤町(現西大井5丁目)に転居しました。煙草屋を奥さんに任せるつもりで店舗併用住宅を借りたようです。その後、出石町(現西大井3丁目)に転居しています。

住所が記載されていないので、実際場所は特定できませんが、伊藤公場所近くには現在も煙草屋がありますが、このような感じだったのかもしれませんが。萩原朔太郎と相前後して近所に居を構えていたこととなります。



西側から見た現在の伊藤公墓所付近(奥側左)、煙草屋(手前右)、JR 原踏切(正面)
(徳川夢声が借りた家かどうかは不明)

参考文献：

1. 徳川夢声著「徳川夢声のくらがり二十年」、2010年10月、清流出版刊
2. 徳川夢声著「夢聲の身上ばなし 大正編」、昭和27年、早川書房刊

大河ドラマ「鎌倉殿と13人」での梶原殿

華やかな源平合戦、その後の鎌倉幕府誕生を背景に権力の座を巡る男たちと女たちの駆け引きをテーマにし、源頼朝にすべてを学び、武士の世を盤石にした二代執権・北条義時と有力御家人13人のドラマが始まりました。品川区・大田区に関係する中村獅童演ずる梶原景時の源頼朝を見逃したエピソードは第6回、北条義時と初めて対面する場面は第7回に放映されました。三谷幸喜は独特のキャラクターで頼朝をはじめ御家人13人を描写をしています、ほぼ「吾妻鑑」に沿ったストーリー展開で演出しています。

当会に関連した催し情報

品川宿交流館写真展

品川神社と北馬場の街並みをテーマにした、大正・昭和の写真を展示します。

日 時：5月15日まで(月曜日は休館)
場 所：品川宿交流館(北品川2-28-19)
入場料：無料

歴史講座「海をのぞむ品川の寺々

—品川にはどうしてお寺が多いのか?—

大井の鎌倉古道や旧東海道沿いには多くの古刹があります。中世から開基された寺々について由来や歴史をたどります。

日 時：3月6日(日) 14時-15時30分
場 所：品川区立品川歴史館 講堂
講 師：歴史研究家 柘植 信行先生
参加費：無料
申 込：大井図書館 先着順 50名
(大井5-19-14、Tel3777-7151)

川崎宿交流館 第30回街道講演会

「身近な場所に眠る『古事記』世界 ヤマトタケルの道・古東海道と謎の相武王国(さがむのくに)～古墳時代の海老名・伊勢原・厚木連合国と高松山古墳～」

1999年に神奈川県厚木市の大山山麓の丘陵地帯山頂で、古街道の調査中に、最古級の前方後円墳を発見。報告と調査依頼から11

年を経て、ようやく発掘調査され、地下から最古級の木棺遺構や土器が出土。4世紀中頃の古墳と判明し、話題になりました。

相模川沿岸地域（海老名・伊勢原・厚木）や相模野こそ、古事記に記載されたヤマトタケル命が火攻めの難にあった物語の背景となった一大勢力の分布地（クニ）ではなかったのか。近代の開発で数多く消えていった古墳群が並ぶ谷、古東海道の推定ライン、大磯の高麗山との関係など現地踏査で見えてきた壮大な謎とロマンを話します。

日 時：2022年3月19日（土）

14時開演（開場は13時30分）

会 場：かわさき宿交流館 4階集会室

講 師：宮田太郎（歴史古街道研究家）

料 金：無料

定 員：当日先着100名（全自由席）

※新型コロナウイルス感染状況によって、定員を減らす可能性があります。

鎌倉歴史文化交流館・企画展「北条氏展 vol.1 伊豆から鎌倉へ―北条氏の軌跡をたどる―」

現在放映中のNHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」関連企画展です。源頼朝の死後、鎌倉殿を支える13人のうち、もっとも若く、最終的に生き残った義時は、承久の乱という未曾有（みぞう）の大乱に勝利し、鎌倉幕府の礎を築きました。本展では、伊豆・鎌倉にまつわる関連出土品や歴史資料を展覧し、伊豆から鎌倉へと活動の場を広げた北条氏の軌跡をたどります。当然ながら北条義時中心の展示で、宿敵だった梶原景時関係の展示や解説はありません。



展示された「吾妻鑑」写本

会 期：1月4日（火）～3月26日（土）

観覧料：300円（団体20名以上210円）

開館時間：10時00分～16時00分

休館日：日曜・祝日

場 所：鎌倉歴史文化交流館

鎌倉市扇ガ谷1-5-1, TEL 0467-73-8501

（JR鎌倉駅西口より銭洗弁天方面徒歩9分）

港区立郷土歴史館令和3年度冬期企画展 「未来に伝えよう！みなと遺産」

今年度新たに港区が指定した文化財を紹介する「新指定文化財展」と、近年実施した埋蔵文化財発掘調査の成果を紹介する「発掘調査速報展」の2部構成となっております。品川台場関係資料の展示があります。

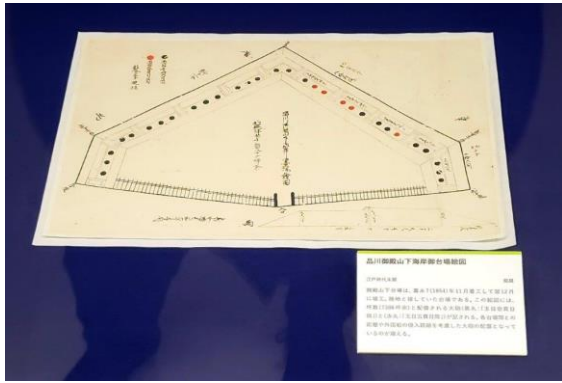
〈新指定文化財展〉

令和3年9月28日付で、今年度新たに加わった3件の指定文化財が紹介されています。

・建造物 高輪プリンスホテル観音堂・鐘楼・山門3棟（パネル展示）

・書跡 増上寺所蔵浄土三部経（紺紙金字）4点（パネル展示）

・歴史資料 品川台場関連資料31枚（実物）



御殿山下御台場絵図

〈発掘調査速報展〉

埋蔵文化財発掘調査の成果として、下記3件の遺跡をご紹介します。

- ・高輪南町遺跡-弥生時代遺構
- ・飯倉町一丁目町屋跡遺跡-江戸時代遺構
- ・港区西新橋一丁目遺跡-玉川上水遺構

開催日：1月15日（土）～3月21日（祝）

会場：港区立郷土歴史館 特別展示室

〒108-0071 港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内

TEL 03-6450-2107 FAX 03-6450-2137

（都営地下鉄白金台2番出口から徒歩2分）

開館時間：午前9時～午後5時

観覧料：400円、企画展のみの場合200円



高輪築堤発掘状況速報（常設展示場）

郷土・郷土史関連図書情報

地元や郷土に関連する水路・地形に関連した図書を紹介します。興味のある方は、品川歴史館、書店等で入手するか近くの図書館で閲覧下さい。

1. 品川用水マップ

現在、品川歴史館で開催されている企画展で図録は発刊されていませんが、その代わりとして品川用水マップが無償配布されています。現在まで刊行されている下記のような各種文献を現時点で見直した最新の資料となっています。

○倉本彦五郎編「品川用水沿革史」、昭和18年、品川用水普通水利組合刊

○東京都世田谷区教育委員会編「世田谷の河川と用水」、昭和52年、世田谷区教育委員会刊

○東京都教育委員会編「玉川上水文化財調査報告」、昭和61年、東京都教育委員会刊

○品川区教育委員会事務局生涯学習部社会教育課編集「品川用水-溜池から用水へ-」、平成6年、東京都品川区教育委員会刊
小坂克信著「玉川上水と分水 新訂増補版」、平成7年、新人物往来社刊

○高島緑雄著「関東中世水田の研究-絵図と地図にみる村落の歴史と景観」、平成9年、日本経済評論社刊

○渡部一二著「図解 武蔵野の水路」、平成16年、東海大学出版会刊



編集：品川区立品川歴史館
発行：品川区立品川歴史館
判型：A1 判折り畳み A4 版
頁数：16 頁
価格：無償配布
発売日：2022 年 2 月 5 日

2. カラー版&重ね地図 地形と地理でわかる大江戸の謎

歴史は地形や地理的位置で具体的な姿を見せます。最近では地形と歴史を組み合わせた書籍が沢山出版されていますが、これもその一つです。なぜ、徳川幕府は江戸で開かれたのか？なぜ、参勤交代は大名ごとに時期が決まっていたのか？なぜ、大坂は「天下の台所」となったのか？なぜ、長崎に出島がつくられたのか？なぜ、江戸の罪人は八丈島に流されたのか？なぜ、罪人を晒し首にする刑場は街道の入り口にあったのか？このような、江戸時代の謎も地形と地理に注目することで解けます。歴史が動いたことに関係する全 58 項目の「大江戸」の謎に歴史の舞台へ案内するガイド本です。江戸・東

京の重ね切絵図や浮世絵今昔グラビアがあり江戸幕府の誕生から大政奉還までを新たな視点で歴史へアプローチする本です。第 3 章 なぜ「その場所」だったのか？で、御殿山を切り崩して台場を何故作った、品川の御殿山に外国公館を何故集めたか、の話題を取り上げています。

著者 大石 学
出版社 宝島社
価格 1320 円(税込)
頁数 216 頁
発売日 2021 年 3 月 5 日
判型 新書版
ISBN 9784299015341

3. 東京のトリセツ 2

最近、観光ガイドとは違う視点の東京関係の書籍が多数出版されています。これもその一つで前書の続き本です。第 1 章 地形から読み解くあなたの知らない東京では、最強の城・江戸城はこうして完成した/姿を消した渋谷川が再び川として蘇る/九品仏川は矢沢川に乗っ取られた？/標高たったの 26m!？ 家康ゆかりの愛宕山/23 区内にある低山は江戸時代に増えた!？/品川台場のために切り崩された御殿山/日本初の上水・神田上水から玉川上水へ…。第 2 章 東京の知られざる鉄道・交通網では高輪築堤出土! 品川海上を走った鉄道/新宿ゴールデン街を都電が走った! /荒川放水路建設でねじ曲げられた東武線/かつて山手線はチョコレート色だった! /…が取り上げられています。

編集：昭文社
出版社：昭文社
発行日：2022 年 1 月 27 日

版 型：16.8 x 1.5 x 21.8 cm

頁 数：176 頁

定 価：1980 円(税込)

ISBN 978-4-3981-4851-3

4 東京スリバチ街歩き

以前紹介した、スリバチ学会会長 皆川典久氏の最新刊です。冒頭、旧著同様、戸越銀座の地形が取り上げられています。

著 者：皆川典久

出版社：イーストプレス

発行日：2022 年 2 月 1 日

版 型：新書版

頁 数：200 頁

定 価：968 円(税込)

ISBN 978-4-7616-8078-1

5. 自然のしくみがわかる地理学入門

2015 年ペレ出版から刊行された同著の文庫化です。冒頭の「平野の地形」は、ほぼ東京地形基本書の貝塚爽平著「東京の自然史」の焼き直しですが、大森貝塚について、何故モースは論文に発掘住所を記さなかったのかに論究しています。1977 年 9 月、12 月にモースが「ネイチャー」誌に投稿した直後の 1978 年 1 月に、同じく大森貝塚を発掘した通詞ハインリッヒ・フォン・シーベルト(シーボルト事件のシーボルトの次男)が同誌に投稿し、モースは激怒し、論文には住所を記さなかったとの指摘があります。

著 者：水野一晴

出版社：KADOKAWA

発行日：2021 年 6 月 15 日

版 型：文庫版

頁 数：256 頁

定 価：990 円(税込)

ISBN 978-4-0440-0647-1

当会の関連行事について

品川郷土の会

年次総会兼第 468 回例会お知らせ

第 468 回例会を、下記の通り実施します。会場の都合で午前中になっていますのでご注意ください。講演内容や出欠確認は、追って往復はがきで、ご案内いたします。

日 時：3 月 19 日(土) 10 時-

場 所：中小企業センター3 階小会議室

演 題：未定

講 師：未定

参加費：500 円(なお、年会費未納者は別途 2000 円をご準備ください)

(復刊 121 号おわり)

品川郷土の会や本誌についてのお問合せは、
〒140 - 0001 品川区北品川 3-6-13-503
携帯電話 080-5497-4633 坂本まで
会長 坂本 道夫